

<目指す学校像>

「人と人とが交わり、心の交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 令和7年5月

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>

学校教育目標



# 狭中だより

『自立と共生』

## 「狭山ヶ丘中学校生徒としてのプライド」入学式・始業式

プライドとは→自分の能力や成果に対する誇りや自信を持つこと、そしてそれらを外部から認められようとする気持ち、自分の存在を尊いと感じ自己肯定感を持つこと、などです。

4月8日全校生徒483名、新しい狭山ヶ丘中学校がスタートしました。入学式では、目を輝かせて161名の1年生が体育館に入場し、2・3年生は温かな拍手で迎えました。

会場は3年生が前日にいすを並べ、紅白幕を掛け、準備し、会場は整然としていました。2年生は校舎の中を美しく飾ったり、掃除をしたり準備万端でした。1年生を迎え入れる心の準備もできている様子でした。

これぞ狭山ヶ丘中学生の**プライド**であると感じました。



1年生 掲示

式の中での「生徒歓迎の言葉」は、1年生が安心できるような内容で、心を込めて伝えてくれました。2・3年生の「誓いの言葉」は自分たちの進級した決意を発表しました。3人共、大変立派な態度で堂々とし、その姿は自信に満ち溢れていて、感動しました。

また、式に参加した生徒たちの聞く態度、式に臨む姿勢も、素晴らしいものでした。身動きせずに、静まり返り、集中して取り組んでいました。

式の最後に歌った校歌は、在校生の声が体育館に響き渡り、迫力を感じる歌声でした。

2、3年生は、制服に腕を通し、入学式でこの学校の校門をくぐった時から狭山ヶ丘中学生としてのプライドを感じながら、学校生活を過ごしてきたのであらうと思います。大切にその想いを引き継ぎ、後輩に伝えてきたと強く感じました。そして、「今がある」のだと思います。

1年生も先輩たちの想いを受けとり、日々目を輝かせながら、いろいろなことに意欲的に取り組んでいました。今後の活躍が楽しみです。

483名の生徒が、授業、部活等、充実した学校生活を過ごせるよう、教職員全員で見守り、支え、指導していきます。

## 生徒会入会式・部活動紹介

4月10日体育館で全校生徒が集合して集会を行いました。

2・3年生にとっても、教科の先生や友達など、新しい出会いがあり、慣れるまでは自信がなかったり、不安であったりという時期だと思います。そのような中でもしっかりと準備を進め、当日は1年生に分かりやすく、丁寧に説明をしていました。

前半は旧委員長が委員会についての仕事や活動について紹介し、後半は部活動の発表でした。

部活動ごとにユニフォームを着たり、作品を提示したり、趣向を凝らした発表で、笑いが起こったり、「おー」という声とともに拍手が湧いたりしました。

生徒たちの優しい心に触れ、心が温まりました。

メリハリのある態度で臨めるところも素晴らしいと感じました。

1年生は真剣な表情で聞いていました。部活動はどこに入りたいか、委員会に立候補しようか等思いが廻ったことと思います。



↑生徒会の説明↓美術部の紹介



**5月2日は開校記念日です。45歳になります。**

昭和54年12月21日、三ヶ島中学校の人数適正化を図るため、所沢市立若狭小学校・宮前小学校の学区をもって、仮称第2三ヶ島中学校の学区とすることが決まりました。2月には狭山ヶ丘中学校と校名が決定しました。

**昭和55年4月1日**中村甲子初代校長を三ヶ島中学校より迎え、教職員27名が着任しました。

4月8日に2年生278名7学級で始業式を行い、4月9日に新入生332名8学級を迎えて宮前小学校の体育館を借りて、盛大に入学式が挙行されました。3年生はいなかったのですね。

そして**5月2日**開校式典を宮前小学校体育館を借りて行い、この日を開校記念日としました。

狭山ヶ丘中学校に体育館ができたのは、昭和56年翌年でした。

校舎もプレハブで開校しました。



ロータリーブロンズ像「飛翔」  
昭和63年第7回卒業生記念